Rotary District 2590

国際ロータリー　第 2590 地区
2025-26年度ガバナー　大塚　正一

ガバナー月信
2025.12.01

Vol. 6

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

会長・幹事殿

テニス同好会

Contents

02　ガバナーメッセージ
04　疾病予防と治療月間にあたり
05　第 2590 地区の更なる活性化を願って …パストガバナーリレー⑤
06　2 つの新クラブが加盟認証されました
08　地区活動報告（2025 年 10 月）
11　地区活動報告（2025 年 11 月）
14　他地区の地区大会に参加して①
15　他地区の地区大会開催予定
16　第 2590 地区ローターアクトニュース
17　地区同好会紹介⑥
18　新会員のご紹介／インフォメーション
19　ロータリー財団･米山記念奨学会寄付者一覧（2025 年 7 月～10 月）
20　2025 年 10 月会員数報告（RC・RAC）

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-26年度 RI 会長メッセージ

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2590地区ガバナー　**大塚　正一**

11月5日（水）自クラブを最後に、各ロータリークラブへのガバナー公式訪問を終えました。残すはローターアクトクラブへの公式訪問のみです。

11月7日（金）～8日（土）の二日間に亘って開催された当地区の地区大会は、第2580地区の若林英博パストガバナー（東京麹町RC）をRI会長代理にお迎えし、成功裡に終えることができたと自負しております。ただ、地区大会への参加者が少なかったことに残念な思いは残りましたが。

さて、地区大会においては「青少年に向けたメッセージ」と、私が年度行動計画に上げた「ロータリーの提供する機会の再認識」という2つの観点から、卓話者を選びました。

まずは、当地区の元米山記念奨学生であり、現在は駐日モンゴル国大使館公使参事官という大使館No.2の立場にいらっしゃるアルザフグイ・デルゲルマーさんに、会長・幹事会と本会議の両方でご講演をいただきました。また、ロータリー平和フェローとして米国デューク大学で平和学を学び、今はアフリカ・セネガルで勤務している深谷春菜さんにビデオレターにてご参加いただきました。ロータリーの奨学生の、その後の活躍ぶりを知ることができたのではないでしょうか。

2日目の講演は、ゴルゴ松本氏にお願いし、特に青少年に向けたメッセージを発信していただきました。大変素晴らしいお話でした。ロータリーでいう「卓話」の「卓」には「テーブル」という意味と「卓越した」という意味があると思います。実に卓越したお話が聞けたのではないでしょうか。

実は11月のこの週末には、第2590地区以外に、他の3つの地区でも地区大会が開催されました。私は、自地区の大会終了後、その足で豊橋の妻の実家に戻り、愛知の地区大会に参加してきました。

愛知・第2760地区の地区大会ですが、初日当日に新聞に両面で広告記事を出していました（中部経済新聞）。また、翌日の朝には、初日の大会の様子が新聞（東愛知新聞）に一般記事として掲載されていました。

会員数4,600人の半分以上の2,600人ほどの参加があったようです。このくらいの数の人が集まれば、新聞にも記事として載せてもらえるのですね。

会員数が多いということは、こんなにも大切であることを、改めて気づかされました。

また、同じ日に開催された三重・滋賀の大会も、地元新聞に大会の様子が記事として掲載されていました。こちらは地区初の女性ガバナーとしての話題性があったようです。

さて、12月は「疾病予防と治療」月間ですが、その話になるとロータリーとしてはどうしても、ポリオ根絶

の話をしなくてはなりません。「あと少し」と願いつつも、まだ続く長い戦いになりそうです。ポリオ根絶に関しては、お金がかかり過ぎだと反対する声も聞かれます。しかし、ここで諦めたら元の木阿弥です。是非、根絶まで応援してください。

私の所属している川崎北ロータリークラブでは、マラリアでの重症患者・死者「0」を目標にオセアニアの島国・バヌアツ共和国に毎年医療支援をしてきました。血中酸素測定器、血圧計、聴診器などから高額な医療機器、さらに川崎市から貰い受けた救急車2台などを届けました。合計6回、クラブとしてバヌアツ共和国を訪問しています。開始から20年後の2020年に医療機器を届けに行った時に、バヌアツの健康省の大臣から「マラリアが撲滅できる目処がたちました」との報告を受けました。20年かかりましたが、マラリアに勝つことができました。クラブ内でも「いつまで続けるのか」という声も聞かれたこともありましたが、とにかく今はまだやめられないと続けてきました。バヌアツの健康省の大臣の言葉は、我々にとって大きな喜びでした。

COVID-19の感染拡大もあり、この支援活動は2020年をもって終了しましたが、終了するにあたって問題になったことは「いつ終了するか？」ということでした。どこまで達成したら終了するなど、開始前に決めておくことの重要性を感じました。最悪、意見の対立でクラブ内に大きなシコリを残すところでした。皆様、折角の奉仕活動がクラブ内に大きな対立、シコリを残さないようにお気をつけください。

国際ロータリーホームページより

多様なジェンダー・セクシュアリティの人々の医療アクセス改善を目指して

2025-26 年度グローバル補助金奨学生　**鈴木　凜**（スポンサー RC　横浜中）
米国・ピッツバーグ大学公衆衛生大学院に在籍し、８月より修士課程を開始

疾病を予防し適切に治療するためには、すべての人が安心して医療にアクセスできる環境が不可欠です。私はその基盤づくりに寄与することを目指して留学し、日々勉学に励んでいます。

日本では元町中華街のクリニックで婦人科医として勤務し、出生時に割り当てられた性別と自認する性が異なるトランスジェンダーの方へ、Gender-affirming care（自認する性を尊重する支援）を提供してきました。これは、ホルモン治療、性別適合手術、心理的サポートなどの医療的な側面、そして戸籍上の性別や名前の変更といった法的な側面を含む包括的な支援のことを指します。しかし、専門に対応できる医療者は非常に限られており、当事者たちが適切な医療を受けられない状況が問題となっています。また、医療従事者の知識不足や無配慮が原因で辛い経験をすることもあり、その結果、体調が悪くても病院受診を避けて病気の発見が遅れることがあります。医療アクセスの改善は、まさに疾病予防と治療の基盤であると感じます。

渡米した際に印象的だったのは、ピッツバーグの街全体で LGBTQ+ 当事者が可視化され、尊重されていることでした。市内にはレインボーフラッグ（LGBTQ+ を支援する旗）が掲げられ、自己紹介では自身の代名詞（he, she, they など）を共有することが一般的で、日常生活に多様な性が自然と溶け込んでいます。ピッツバーグ大学は公衆衛生学領域で LBGTQ+ 研究を先駆的に進めてきた歴史があり、大学内のクリニックでは Gender-affirming care が標準医療として提供されています。さらに、LGBTQ+ の患者に特化した大規模なクリニックもあり、医療アクセスの良さに大きな刺激を受けています。

私の研究テーマは、医学教育における実現可能で有用な Gender-affirming care のカリキュラムや、研修の仕組みについて検討することです。米国では、当事者コミュニティーと協働した教育プログラムを研究し導入している大学や、医師向けの LGBTQ+ ヘルス学習アプリの開発をしている大学があり、こうした取り組みは、誰もが適切な医療にアクセスできる社会の実現に直結します。引き続き、医療アクセスの改善というテーマを軸に研究に励んで参りたいと思います。最後になりますが、貴重な機会を支えてくださるロータリークラブの皆様に心より感謝申し上げます。

LGBTQ+ 研究室の仲間とジェンダークリニックを見学した時

効果的な会員増強のために研修と奉仕活動の充実を

第2590地区パストガバナー　**露木　雄二**（横浜瀬谷）

ガバナー年度を終えて12年経ちますが、今の大塚ガバナーが考えているようなことを当時も考えていたと思います。やはり、会員減少に歯止めがかからず何とか会員増強したいということで新しい活動を模索していました。新会員の一泊研修、ロータリー問題集の作成、会員のコーラスと国際親善学友（ロータリー財団）と米山学友の演奏によるチャリティーディナーパーティー、国際協議会で撮影したビデオによる公式訪問、最後となるGSEチームの海外派遣、地区テーマのバッジ作成、全ローターアクトクラブへの参加等、私なりには努力したつもりですが、結果的に歯止めはかかりませんでした。私だけかもしれませんが、何か空回りしているように思えてなりません。ガバナーは、自分の考える範囲で良かれと思って活動しているのですが、ポテンシャル会員の心には響かないようです。

私の場合は、父と兄が既にロータリー会員で、誘われたまま何の疑問も持たず入会した次第です。結局、信頼できる推薦者がいたということでしょうか。入会のきっかけとしては、非常に重要なポイントだと思います。私の経験から導き出した効果的な会員増強のための要素を挙げると、推薦者の持つ人間性・ロータリー知識の豊富さ・奉仕活動の経験などが重要になると思います。

現在、地区ラーニング委員長を拝命しておりますが、今年度からクラブ内研修に力を入れようとしているのは、正にクラブにおける研修活動の充実により、会員の知識の向上を考えているからです。その後、奉仕活動の実践を積むことにより、推薦者として十分なロータリアンの育成が可能になると思います。会員増強活動には、近道はないようです。地道な継続的努力が最終的には長期間活動できる会員を生むわけです。

現在、RIは、会員増強にかなりの力を注いでおります。衛星クラブやeクラブなどの形態、会員種別による会費の変化等を取り入れたクラブを提案しております。クラブの魅力の本質がどこにあるか模索していますが、入会の動機は単に費用だけの問題ではないと思われます。短期間で成し遂げられるものではないと思います。クラブの質を高め、会員の質を高めた魅力あるクラブづくりが遠回りのようで最短距離かもしれません。

大塚ガバナーは、色々なアイデアを用いてクラブの活性化、地区の活性化を図ろうとしています。良いと思うことは、すべて実施してみる。また、過去のガバナーが実施したことで参考になる活動があったらもう一度実施してみることも必要かと。やり残しのない、悔いの残らない年度にしていただきたいと思います。クラブの会長は、ガバナーの考えを良く理解し、クラブの実情に合った方法で会員増強を含めたクラブの活性化に邁進して頂きたいと思います。ガバナー並びにクラブ会長の益々のご活躍を祈念いたします。

2つの新クラブが加盟認証されました

● 川崎北 YOKOHAMA ロータリー衛星クラブ設立報告

川崎北 YOKOHAMA ロータリー衛星クラブ議長　**赤堀　和人**

本年度、大塚ガバナーより再三にわたり、第2590地区で初めてとなる衛星クラブ発足への要請をいただき、このたび議長という大役を務めさせていただくことになりました。私は約20年にわたりロータリークラブの活動に携わってまいりましたが、衛星クラブの設立は初めての経験であり、川崎北ロータリークラブの谷口会長、松山幹事のご指導のもと活動を進めております。衛星クラブは、既存のクラブ（スポンサークラブ）の支援を受けながら、より柔軟な形で活動する新しいクラブ形態です。私たち川崎北 YOKOHAMA ロータリー衛星クラブも、川崎北ロータリークラブのご支援をいただきながら、一歩ずつ歩みを進めてまいります。当面の目標は、大塚ガバナー年度中に会員を20名に増やすことです。11月現在で10名の会員を擁しておりますが、さらなる会員増強に力を注ぎたいと思います。ただし、誰でも良いということではなく、ロータリアンとしてふさわしく、職業分類の未充填分野を補う方々を迎え入れていきたいと考えています。奉仕活動については、発足間もないため、しばらくの間はスポンサークラブである川崎北ロータリークラブの活動をお手伝いしながら、経験を積み重ねてまいります。まだ課題も多いですが、一つひとつ着実に克服し、地区初の衛星クラブとしての責務を果たしてまいります。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

川崎北ロータリークラブ会長　**谷口　一成**

このたび、川崎北ロータリークラブは、国際ロータリー第2590地区として初めての衛星クラブとなる「川崎北 YOKOHAMA ロータリー衛星クラブ」を設立いたしました。本クラブは、大塚ガバナーの力強いご指導のもと、多様性を尊重し、より柔軟で参加しやすいロータリークラブを目指して、前年度より準備を重ねてまいりました。

創立総会は2025年7月15日に開催し、10月14日付で国際ロータリーへの加盟が正式に認証されました。

そして、2025年11月5日には認証伝達式を行い、チャーターメンバー9名による新たなスタートを切ることができました。衛星クラブのメンバーには、ロータリーに関心を持つ新しい仲間に加え、これまで毎週の例会への参加が難しかった元会員も加わっています。

柔軟な参加形態を活かしながら、地域社会への奉仕とロータリー活動の魅力発信を進めてまいります。今後は、スポンサークラブとして、川崎北ロータリークラブが引き続き支援と連携を図りながら、会員増強とクラブの活性化に努めてまいります。

本衛星クラブの設立が、地区全体の新たな成長の契機となることを願い、ここにご報告申し上げます。

● 横浜市立大学ローターアクトクラブ設立報告

横浜金沢八景ロータリークラブ会長　**柳下　寿彦**

2025年10月30日横浜金沢八景ロータリークラブを提唱クラブとして、横浜市立大学ローターアクトクラブがRI認証を受けました。

設立を支援してくださいましたロータリアン、ローターアクト会員、大学関係の皆様には深く感謝申し上げます。

当地区では3つのRAC（横浜・横浜南・ベイフロント横浜）が既に活動していましたが、未来のリーダー育成につながる「大学に学生中心のクラブを作りたい」との思いからこのプロジェクトが立ち上がりました。

現役の米山奨学生キム・ユチャン君を当クラブでお世話している縁で、4月から彼を中心にメンバー募集を行いました。

この時、特に大きくお力添えいただいたのが前述の3RACの皆さんです。説明会を開催し、奉仕活動を企画・実行して多くの市大生を集めることができました。これらの催事のたびに地区委員や地区内の多数のロータリアンに足を運んでいただきました。また、大学の石川義弘学長がロータリー財団奨学生として米国留学を経験した方だったために、ロータリークラブへのご理解が深く、その他和田教授・三輪教授のご尽力で大学事務局の協力も得ることができました。お陰様をもちまして、12月22日には大塚ガバナーをはじめ、設立にご尽力いただいたロータリークラブと大学関係者の方をお迎えして、RI認証状伝達式を開催できることになりました。

この先は、社会貢献活動に参加したいという大勢の若者の熱い思いに応える活動が求められます。先輩RACの皆さんには引き続きご指導をお願いいたします。私たち横浜金沢八景ロータリークラブ会員一同、彼らの元気と行動力に煽られるのを嬉しく思いながら応援してまいります。

横浜市立大学ローターアクトクラブ会長　**金　儒燦**

この度は、多くの方々のご支援をいただき無事に横浜市立大学ローターアクトクラブを立ち上げることができました。ここに至るまでご尽力くださいました皆様方に、改めて心より感謝申し上げます。

私は、今年度の米山奨学生としてロータリーからご縁をいただき、4月から横浜金沢八景RCにお世話になっております。米山奨学生として最初に参加させていただいた横浜金沢八景の例会で「横浜市立大学にRACを設立する」とのことを伺い、最初は「そもそもRACって何だろう？」と思いながら説明会に参加しました。

それから私も何か手伝えることがないかと伺ったところ、7月のRAC説明会＆ゴミ拾いイベントの企画運営に携わり、ポスターをデザインしたりMTGに参加したりと、自然とイベントの運営側に立つようになりました。

ゴミ拾いイベント終了後、懇親会の場で横浜金沢八景RC直前会長の山本詩子さんより「やはり会長はゆちゃん君しかいないよ」と言われ、最初は現在大学4年生で来年卒業すること、学業と長期インターン等であまり時間が作れそうになかったことで、すごく悩ましいところでしたが、大学内であまり主体的な活動したことがなかった私にとって、この機会がラストチャンスのように感じました。そのような思いから、横浜市立大学RAC設立準備会の会長に就任、地区RAの方々と協力して当クラブを立ち上げました。

RIに提出する書類の準備であったり、あまり知らないメンバーに何かを説明して協力してもらったりすることに慣れず、大変なことも沢山ありましたが、この経験から周りの人に頼る方法であったり、相談して物事を前に進める力ができ、もう一歩成長できたと感じております。

これからは、「奉仕活動を通じて、リーダーシップや専門知識の開発、国際理解の推進を行う」というローターアクトの理念に相応しいクラブを目指して、まずは卒業までの間このクラブを育てて、若い学生がロータリーと関われる、自分を磨き上げられるような土台を作り、来年から後輩たちに任せられるよう、頑張りたいと思います。

当クラブに関わっていただいた、またはこれから関わっていただく皆様へ
至らない点もございますが、今後も温かいご指導とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

地区活動報告（2025 年 10 月）

● 2025-26RYE オリエンテーション報告

地区ロータリー青少年交換委員長　**松田　啓**（横浜鶴見北）

10 月 11 日（土）、今年度 2 回目の RYE 来日生オリエンテーションを開催しました。

今月タイから来た Am（エム）が新たに加わりまして、来日学生は 4 人となりました。タイから来たのは、他の来日生から遅れること 2 か月ですが、日本語を話そうという気概があり、私としても期待が大きいです。他の 3 人には自分の国の紹介を日本語でスピーチしてもらいました。この時期の来日生としては破格の上達ぶりです。この後もクリスマス会や、京都･広島研修、スキーキャンプとイベント目白押しですが、皆楽しみにしてくれています。傍から見ても 4 人はとても仲が良さそうで、同じ境遇の仲間がいるということはとても大きな支えになるのだなと思わされます。お互いに刺激し合って、高め合っていってくれると嬉しいです。地区大会でご紹介しますので、お楽しみにしてください。彼らは今後もどんどん成長していきます。皆様にもこの成長ぶりをご覧いただきたいので、何かまた機会を作りたいと思っています。

● 横浜市教育委員会「新任副校長短期企業等研修派遣」報告会 参加報告

地区社会・国際奉仕委員長　**益田　裕隆**（横浜瀬谷）

令和 7 年 10 月 16 日（木）、横浜市教育委員会主催による「新任副校長短期企業等研修派遣」報告会が開催されました。横浜市では 2004 年から 20 年と長期間にわたり、ロータリーと共にこの短期企業研修派遣を行っています。

まずは、教育委員会より研修の意義について挨拶があり、学校と地域・企業が連携して人材育成に取り組む重要性が強調されていました。

続いて副校長らによる研修報告では、企業現場での体験を通じて得た学びや、教育に活かせる経営・組織運営の視点などが共有されました。特に「人を育てる現場に共通する理念」としてのコミュニケーションや、信頼関係の大切さについての話が印象に残りました。その後、ロータリアンを交えたグループ協議が行われ「変化の時代を生き抜く力：レジリエンスをどう育むか」をテーマに意見交換を実施し、学校と地域が連携して、子どもたちに挑戦する力や柔軟な思考を育てるための実践的な方策について、活発な議論が交わされました。教育と地域社会の協働の意義を改めて実感した一日でありました。

● 2025 学年度米山カウンセラー研修会報告

地区米山選考副委員長　**堀野　弘樹**（横浜鶴見北）

10 月 23 日（木）、ホテルプラムにて 2025 学年度米山カウンセラー研修会が行われました。当日は地区関係者 20 名、カウンセラー 38 名のご出席をいただきました。

地区役員挨拶の後、カウンセラーハンドブックの説明、奨学生カウンセラーの今後の予定についての説明を行い、後半は 2024 年 3 月に実施した奨学生・カウンセラーへのアンケート結果を踏まえて、各テーブルにて奨学生・指導教官との接し方などについて意見交換を実施致しました。各テーブルより「奨学生はとても優秀で特に言うことはないが、偏った国籍の奨学生を割り当てられる、と不満を言う会員がクラブの中にはいる」「性別の違う奨学生との接し方には気を使う」などの貴重なご意見を頂くことができました。

短い時間ではありましたが、皆様のご協力により研修会が無事出来ましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。これから地区米山記念奨学委員会は、次年度奨学生の選考に向けて本格的な準備を進めてまいります。今後とも米山記念奨学事業へのご理解・ご協力をお願い致します。

● RLI パートⅡ報告

地区 RLI 委員長　**半澤　剛**（川崎北）

今年度の RLI ラーニングにつきまして、10 月 26 日（日）の聖光学院で実施のパートⅡまでの終了者は、19 名です。昨年度のパートⅢまでの修了者（卒業者）は、なんと僅か 3 名でした。当地区は、RLI を始めてから 9 年目にして、卒業者は 103 名です。全国でも「学び」に対する希薄さが度々話題になっております。

最近では、「失われた 30 年」に漸く別れを告げようとする勢いを感じます。当地区の会員増強活動は、掛け声は響き渡りますが、この 30 年では、3,000 人台の会員数が、1,700 人台に減少しました。

「学び」の少ないところには「モメンタム（勢い）」は生まれないと言われます。当地区のクラブ数は、現在 50 です。各クラブの会長、幹事さんにぜひお願いしたいのは、RLI の「学び」である基本理念をもう一度リスキリングしていただきたいということです。ぜひ、RLI のラーニングにご参加頂けますようお願いする次第です。（写真は、パートⅡまでの修了証を受け取ったばかりの方々です。）

● 地区大会記念「ロータリー希望の風奨学金チャリティーコンサート」報告

希望の風チャリティーコンサート委員長　**谷川　公一**（横浜西）

このたび、地区大会記念事業として開催いたしました「ロータリー希望の風奨学金チャリティーコンサート」は、多くの皆さまの温かいご支援とご協力により盛況のうちに終了し、感謝と感動に包まれた素晴らしいひとときとなりました。地区内すべてのクラブよりお申し込みをいただき、合計447名分のチケット購入にご協力をいただきましたこと、また一般の皆さまからも温かいご賛同をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

当日は320名もの多くの皆さまにご来場いただき、また、ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会よりご来賓の方々にもご臨席賜りまして、出演者と観客が一体となって、音楽がもたらす感動と希望の力を感じる時間となりました。また、出演された米山学友より当日のCD売上の全額をご寄付いただいたほか、当日ご来場いただきました多くのロータリアンの皆さまからも5万円もの募金のご協力をいただきました。

皆さまからお寄せいただいた善意は、東日本大震災で被災した子どもたちの学びを支える「希望の風奨学金」として活用されます。これからも、音楽と奉仕の心を通じて未来を担う若者たちに希望を届け、この活動の灯を絶やさぬよう努めてまいります。

地区活動報告（2025 年 11 月）

● 地区大会報告

地区大会委員長　**米山　元章**（川崎北）

若林英博 RI 会長代理

国際ロータリー第 2590 地区地区大会一日目は、11 月 7 日（金）横浜ベイシェラトンホテルで開催いたしました。

大塚ガバナーの点鐘の後、RI 会長代理若林英博パストガバナー（東京麹町ロータリークラブ）による「国際ロータリーの現況報告」をお話し頂きました。

記念講演は、ロータリー財団学友の深谷春奈さん（深谷さんは、ジャイカセネガル事務所に赴任のためビデオレターで）と、米山記念奨学会 OB の現モンゴル国大使館公使参事官でいらっしゃるアルザフグイ・デルゲルマーさんにお願いをしました。

お二人ともロータリーからの奨学金に対して感謝の気持ちを述べられ、今後も引き続き若い人たちへの支援を期待されました。

RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会では、やのちえみさんとお仲間によるパシオンフラメンコをお楽しみ頂きました。

最後には、大塚ガバナー夫人と同期ガバナーの奥様達、地区ロータリアンが舞台に上がり、フラメンコを踊り大変盛り上がりました。

ゲストの方々をお招きしての二次会でも、夜遅くまでお話が盛り上がっていました。

二日目 11 月 8 日（土）は、会場をパシフィコ横浜会議センターに移し、若林英博 RI 会長代理に RI 会長メッセージについて、時折ジョークを交えながらわかりやすくお話されました。

寄付金、記念品の贈呈等があり、記念講演ではお笑いコンビ「TIM」のゴルゴ松本氏に「命の授業」と題して、予定時間を少しオーバーする位熱い授業をして頂きました。

その後の会員懇親会は、川野パストガバナーの乾杯で始まり、ポリオ根絶チャリティーゴルフの表彰、アトラクションでは、カラオケ世界大会デュエット部門チャンピオン斎藤伶奈さんに歌って頂き、最後にはたくさんのロータリアンもステージに上がり、一緒に歌って盛り上がりました。

本地区大会の開催に際し、RI 会長代理若林様ご夫妻、ＲＩ理事水野様ご夫妻、昨年度の RI 会長代理桑澤様ご夫妻、他地区のガバナーの方々、当地区パストガバナーの皆様、そして三年連続でエイドをお引き受け頂いた小倉様ご夫妻には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

また、ご協力いただいた大会実行委員会、コ・ホストクラブ、ホストクラブ、地区内ロータリアンの皆様には心より感謝申し上げます。

大会二日間、お陰様で何事もなく無事終了することができました。ありがとうございました。

ロータリー財団学友の深谷春奈さん

アルザフグイ・デルゲルマーさん

会場の様子

● ロータリー財団奨学生帰国報告会報告

地区奨学金・学友委員長　**倉嶋　翼**（横浜戸塚中央）

11 月 8 日（土）午前 10 時から、パシフィコ横浜会議センター 315 小会議室にて、ロータリー財団奨学生による帰国報告会が実施されました。

当日は、医療・教育・経済・経営・芸術（音楽）といった幅広い分野にわたって米国、英国、アイルランド、フランス及びスペインで研究をされていた（現在も研究されている）ロータリー財団奨学生のみなさんが、留学先国からのオンラインでの登壇を含め合計 8 名参加してくれていました。久しぶりに奨学生の皆さんのお顔を見ながら、まずは、登壇してくださった方々全員がお元気に過ごせている御様子だったことが、当委員会のメンバーの 1 人として大変安心しました。

また、奨学生の方々の研究分野での成果や現地ロータリークラブとの交流、そして、将来の展望を、皆さまそれぞれが忙しくお過ごしな中、大変分かりやすいパワーポイントデータを作成してもらった上で、報告してもらうことができました。当日御参加いただいたロータリアンのみなさまも、奨学生の方々の活気・熱気溢れる帰国報告に聞き入っていました。

帰国報告会は、ロータリー財団奨学生をロータリアンの皆様方に知っていただく大変良い機会と思っております。ロータリアンの皆さま、是非とも、来年度の地区大会にご参加される際は、少しだけ早めにお出かけをいただき、帰国報告会へのご参加をいただけますと幸いです。

引き続き、ロータリー財団奨学金に対するご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

● 地区大会青少年交流交歓会報告

地区青少年奉仕委員長　**佐藤　佳一**

大塚正一ガバナーの強いご意向を受け、数年ぶりに11月８日（土）地区大会の２日目に、パシフィコ横浜会議センター３Ｆにて、約160名が参加して青少年交流交歓会が行われました。

対象は新世代ロータリーファミリー（インターアクター、ローターアクター、ロータリー青少年交換学生、候補生、ROTEX、ロータリー財団奨学生・平和フェロー、米山奨学生・学友）です。

内容としてはまず、2007-08年度に当地区から青少年交換学生としてタイに派遣した川口莉穂さん（ROTEX）に「国際協力について」の体験談を中心に講話をしていただきました。交換留学をきっかけに国際協力・途上国支援に関心を持ち、青年海外協力隊としてアフリカの「ベナン」に赴任後、アフリカ布を使った浴衣を制作する活動をスタート、株式会社シエリーココを設立して現地女性雇用創出に尽力しています。

その活躍は中学公民の教科書にも掲載されています。参加した皆さんが内容の濃い話を興味深く聴いていた様子で、質疑応答の時間が足りませんでした。

その後で、15グループに分かれて「私たちが日本にいながらにしてできる国際協力とは？」というテーマでグループ討議を行い、ローターアクターにファシリテーターを務めてもらいました。活発な討議が行われ、代表して３グループに発表してもらいました。

久しぶりの開催でしたが、多くの対象者が参加してくれて、新世代のロータリーファミリーの交流を図る良い機会となり、有意義な交歓会となりました。

又、ROTEXでもある川口さんの益々の活躍を祈り、応援したいと感じました。

青少年交流交歓会終了後、ローターアクターと、インターアクターの交流会を行い、ポリオデーポスターコンクールの表彰や、ゲームを行ってローターアクト活動についての理解と交流を深めることができました。

他地区の地区大会に参加して①

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー　**大塚　正一**

11 月 10 日の時点で、第 2590 地区の地区大会を除いて、次の 7 つの地区大会に参加してきました。

今まで隣の地区（第 2780 地区）以外の他地区の地区大会に参加することはありませんでしたので、新たな驚きと発見がありました。そのことをご報告したいと思います。

まず、共通の驚きは、どこの地区大会でも県知事や開催地の市長を本会議にお招きしていたことでしょうか。以下にそれぞれの特徴と私の感想を記します。

① 第 2780 地区（神奈川）：松下 孝ガバナー（9 月 6 日～7 日）

今年度の最初の同期の地区大会です。年度末の RI 会長交代のバタバタの影響で、RI 会長代理が決まらず、松下ガバナーの英断で RI 会長代理を招聘しないことにされて、開催されました。私は、二日目は地区の世界ポリオデーイベントの開催と重なり、残念ながら参加できませんでした。そんな事もあり、初日は無理をお願いして、同地区の相澤パストガバナーの「指導者養成セミナー」に参加させていただきました。二日目はパートナーのみの参加でしたが、講演はアパホテル社長・元谷芙美子さんの楽しいお話だったとのことです。参加者全員にアパ社長から、ご自分の著書「私が社長です」と、ホテルで売っているアパカレー（レトルト）、そしてアパホテルの袋入りの歯ブラシがプレゼントされました。パートナーが持ち帰ったホテルの歯ブラシには笑えました。

② 第 2550 地区（栃木）：二十二 修ガバナー（9 月 27 日～ 28 日）

宇都宮駅前の会場で開催されましたが、駅前の新交通システムにびっくりです。宇都宮ライトレールという名称ですが、路面電車のイメージを一新するデザインの車両でした。地区大会は二十二ガバナーの意向で、青少年に焦点を当てるということで、当第 2590 地区の地区大会への考えと被った！と思いましたが、そこはそこで、第 2550 地区の青少年たちの素晴らしさを知ることができました。二日目の昼食は、以前は何かの倉庫だったのだろうという感じのレンガ造りの高級レストランで地元のものをご馳走になり、尾身茂先生のご講演を聞きました。尾身先生のお話を聞くのは、今回が三度目でしたが、以前と内容も異なり、流石だなぁと感心しました。

③ 第 2690 地区（鳥取・島根）：坂口 元昭ガバナー（10 月 4 日～ 5 日）

実は、ここには私は参加できずに、パートナーだけの参加になりました。エクスカーションが素晴らしく、足立美術館などに行けたと感激していました。本会議の講演者は、明治天皇の玄孫・竹田恒泰氏でした。古事記などの話で大変興味深い話が聞けたと喜んでいました。因みに初日の講演は、こちらも尾身先生で、ポリオ根絶のお話だったようです。

④ 第 2790 地区（千葉）：時田 清次ガバナー（10 月 11 日～ 12 日）

千葉といえば、滝沢馬琴の「南総里見八犬伝」の舞台です。今年度は「南総里見八犬伝」をテーマに地区大会が開催されました。千葉県内にある美術館など数箇所を移動しながら、南総里見八犬伝に関わる展示を数ヶ月間行ってきました。その展示会時の映像などが上映されました。「南総里見八犬伝」を故郷の誇りとして開催された興味深い大会でした。

RI 会長代理は招聘しないで、代わりということではないでしょうが、四宮孝郎 RI 理事エレクトがご招待されていました。どうも RI 会長代理は、同じ年に 2 箇所で兼ねることはできないルールがあるようです。

⑤ 第 2710 地区（広島・山口）：土肥 慎二郎ガバナー（10 月 18 日～ 19 日）

本大会は東広島市で開催されました。この町には 10 の酒蔵があり、お酒の街として観光に力を入れています。市の条例で「乾杯は日本酒」と決められているそうです。地区大会ではこの条例をしっかり守っていました。初日のお話は第 2690 地区の松本裕二パストガバナー、二日目は俳優の辰巳琢郎さんでした。辰巳さんは、地元放送局のアナウンサーに質問を受けるという形式で、軽妙にお話をされていました。そのワイン愛とワインの知識の深さには驚きました。また、パートナーが参加したエクスカーションでは、地元のロータリアンが個人で造ったという仙石庭園というところに連れていって頂いたのですが、個人で造ったとは思えないくらい広大で、素敵な庭園だったようです。

⑥ 第 2670 地区（四国 4 県）：織田 英正ガバナー（10 月 24 日～ 25 日）

高知県の高知市で開催されました。私もパートナーも初めての高知なので、地区大会よりも観光優先の予定を組み、３泊４日で出掛けてきました。（ちゃんと地区大会は両日参加しました！）初日は桂浜で龍馬に会い、二日目はレンタカーを借りて四万十川まで足を伸ばしました。高知は一昨年､昨年と NHK の朝ドラのロケ地（らんまん、あんぱん）となり、とても活気がありました。RI 会長代理として、田中久夫パストガバナー（群馬）が来られていましたが、その歓迎晩餐会の２次会で、我々夫婦も大歓迎を一緒に受け、芸妓さんのお酌と踊りで歓待されました。いったい幾ら費用がかかったのだろうかと心配になりました。

⑦ 第 2760 地区（愛知）：鈴木 康仁ガバナー（11 月８日～９日）

愛知は豊川総合体育館で開催され、約 2,600 人が参加したとのことです（会員数、約 4,600 名）。自身の地区大会があったので、二日目だけの参加になりました。本会議の始まりに、陸上自衛隊の第 10 音楽隊の演奏を堪能させていただきました。指揮者のキビキビとした動きに、流石に自衛隊だなぁと感心しました。生憎の雨と強風のスタートでしたので、鈴木ガバナーは「嵐を呼ぶ男」と、他の方の挨拶で何回か言われておりました（終わるころには雨も止みましたが）。二日目の朝には地方新聞に大会初日の記事が載っていて、流石に人数が多いと大会の扱いも違うなぁと感じました。

（～他地区大会参加報告の続きは次号以降にて）

2025-26 年度 他地区の地区大会開催予定（開催日程順）

（敬称略）

開催年月日	地区	ガバナー氏名	ホストRC	会場
2025年12月6日(土)	2620	稲葉雅之	伊東西	川奈ホテル
2025年12月7日(日)				サイクルスポーツセンター　伊豆ベロドローム
2026年2月6日(金)	2750	田中　靖	東京小金井	パレスホテル東京
2026年2月7日(土)				立川ステージガーデン
2026年2月25日(水)	2580	中川雅雄	東京紀尾井町	ホテルニューオータニ
2026年2月26日(木)				
2026年3月7日(土)	2680	城　守	姫路	神戸ポートピアホテル
2026年3月8日(日)				
2026年3月7日(土)	2700	濱野良彦	福岡東南	グランドハイアット福岡
2026年3月8日(日)				アクロス福岡
2026年4月4日(土)	2650	小﨑　学	京都北	国立京都国際会館／ザ・プリンス京都宝ヶ池
2026年4月5日(日)				国立京都国際会館
2026年4月17日(金)	2520	加藤雄彦	仙台	ホテルメトロポリタン仙台
2026年4月18日(土)				
2026年5月22日(金)	2720	藤田 千克由	大分中央	J:COM ホルトホール大分
2026年5月23日(土)				

2025年 12

月刊 No.06

どんなときも

～あなたの未来に FROM THE ROTARACT～

速報 横浜市立大学RAC誕生!!

横浜金沢八景ロータリークラブ提唱

認証状伝達式：12月22日（月）15:00～17:00

三地区合同国内研修 IN能登

10 / 11 SAT ▶ 10 / 12 SUN ▶ 10 / 13 MON

国内研修の概要と目的

第2610地区(石川富山)受け入れのもと、第2590地区(横浜川崎)・第2760地区(愛知)3地区合同で能登復興支援（国内研修）を行いました。
能登半島での奉仕活動を通じた復興支援を目的に、活動の中で交流とリーダーシップの育成を図り、友好地区との連携を深めるとともに、ロータリーファミリーの輪を広げることを目指しました。

研修センター前にて

ラーニングセミナーにて

のと復耕ラボにて

1日目

研修初日は「ラーニングセミナー」として2610地区直前代表の和田康佑さんより「地域に貢献するために：効果的な奉仕活動のデザインと実現方法」についてご講話をいただきました。その後、3地区合同で、今後それぞれの地区におけるアクト活動をどのように活性化させていくかについて、意見交換を行いました。

2日目

今回のメインとなる能登復興支援のボランティアを行いました。活動内容は、土砂災害に見舞われた民家の復旧作業をはじめ、森づくりや草刈りなど、現地のニーズに応じた多様な作業を体験しました。こうしたボランティア活動を通じて、地域の方々との交流はもちろん、他地区のアクターとの絆も深めることができました。

3日目

グループに分かれて交流を深めながら、金沢市内の主要観光地を巡りました。ひがし茶屋街、近江町市場、そして忍者寺などを訪問し、地域の文化や歴史に触れる貴重な機会となりました。

総括

今回の国内研修は、学びと交流に満ちた非常に有意義な機会となりました。
能登での復興支援活動を通じて、災害の影響が今も続いている現状を実感し、支援の継続が地域再生に不可欠であることを改めて認識しました。
この経験を今後のアクト活動に活かし、持続的な奉仕のあり方を考えていきたいと思います。

【新聞の作者】
地区RA社会国際奉仕委員長
ベイフロント横浜RAC
菊地有為

地区	横浜	横浜南	ベイフロント
第3回TH例会 2027-28年度代表選挙 12月16日（土） 19:30～20:50 @健康福祉センター	ガバナー公式訪問 ＆年末関内清掃 12月11日（木） 19:30～21:00 @ウルル	55周年例会 12月20日（土） 17:30～20:30 @UNION HARBOR	こども食堂 12月28日（日） 時間場所：未定

地区同好会紹介⑥　テニス同好会

代表世話人　**石渡　宏衛**（横浜鶴見北）

11 月 16 日（日）神奈川県ロータリアン親睦テニス会 第 60 回大会が、名門、湘南ローンテニスクラブで開催されました。

秋の好天の中、第 2590 地区より 21 名、第 2780 地区より 13 名、その他の地区より 1 名、合計 35 名のロータリアン、ご家族、ご友人、青少年交換留学生の参加者があり、怪我無く楽しくテニスを行いました。

この神奈川県ロータリアン親睦テニス会は 1986 年に第 1 回テニス会が開催され、当地区上野豊ガバナー（1975-76 年度）からカップの寄贈を受け、神奈川県ロータリアン上野杯テニス会とも呼ばれています。

1974-75 年度より第 359 地区として全県一区となった神奈川県は、1989-90 年度に横浜市と川崎市を地域とする第 259 地区と、神奈川県西部を地域とする第 278 地区となりましたが、テニス会は両地区のロータリアンの合同の会として開催されております。

以前は両地区に分かれての対抗戦や、チームを分けて試合を行い、順位を決めたりしていましたが、上級者ばかりでは？とかハードルが高いとのお声もあり、現在ではハードに試合をするコート、緩やかに試合をするコート、初心者向けのレッスンを行うコートと、その方のレベルに合わせた内容となっております。

今回は両地区とも初めて参加される方が多く、地区を越えての交流が深まりました。

また、テニス会後の懇親会はテニスコートに隣接する湘南地ビールのイタリアンレストランで行われました。

第 60 回記念大会でしたので、大塚ガバナーからお祝いのメッセージが、上野孝パストガバナーからは日本最初のテニス倶楽部である横浜インターナショナルコミュニティと上野豊パストガバナーとテニスについてのメッセージ、樋口パストガバナーからは過去にテニス会に参加された思い出のメッセージが寄せられ、懇親会でご披露致しました。

この第 60 回大会を記念して、神奈川県テニス協会を通じてジュニア育成のための支援活動も行います。

次回第 61 回大会は 2026 年 4 月を予定しております。初心者歓迎、テニス会、懇親会のみの参加も可能です。

詳細が決まりましたらホームページ http://krctennis.org/ にご案内しますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

ご不明な点はテニス会幹事にお問い合わせください。
当地区のテニス会幹事は、飯野陽一（横浜ベイ RC）、石渡宏衛（横浜鶴見北 RC）、本山真弘（横浜中 RC）、船木拓志（横浜西 RC）、毛木徹（川崎西 RC）です。

新会員のご紹介

市川　世紀
（川崎とどろき）
都市銀行
2025 年 10 月 27 日入会

井上　玲子
（横浜田園）
不動産管理
2025 年 9 月 9 日入会

安念　千佳
（横浜田園）
信託銀行
2025 年 10 月 14 日入会

三田　大明
（横浜）
アミューズメント
2025 年 8 月 26 日入会

岡　邦彦
（横浜）
生命保険
2025 年 8 月 26 日入会

小野寺　拓
（横浜）
中央銀行
2025 年 9 月 9 日入会

後藤　真一
（横浜）
情報サービス
2025 年 10 月 7 日入会

伊藤　純子
（横浜）
商業施設
2025 年 10 月 7 日入会

梅原　洋二
（横浜）
電子計算機販売
2025 年 10 月 21 日入会

滝澤　秀之
（横浜西）
鉄道運輸
2025 年 10 月 22 日入会

インフォメーション

● RC 事務局・例会場移転のお知らせ

《掲載要領》
毎月第一週迄にガバナー事務所着でご連絡頂いた分を、翌月号に掲載予定です。
移転の月、又はその前月号の掲載に間に合うようお送り下さい。

《送付先》
ガバナー事務所迄、メール（PDF 版）または FAX にてお送り下さい。

横浜戸塚中央 RC（2025 年 11 月 20 日（木）より移転）

新事務局：〒 244-0003　横浜市戸塚区戸塚町 3949　（有）青木情報計算センター内
TEL ／ FAX：変更なし

● ガバナー事務所年末・年始休暇のお知らせ

2025 年 12 月 27 日（土）～ 2026 年 1 月 5 日（月）

ロータリー財団・米山記念奨学会寄付者一覧（2025年7月～10月）

ロータリー財団

●メジャードナー（4名）

川崎高津南	島崎　順夫		
横浜南	水谷　透		
横浜	上野　孝／上野　淳子		
横浜中	武藤　健一		

●ベネファクター（10名）

川崎	茂手木　雅也	岡本　雅行	
川崎大師	八尋　匡彦		
川崎中	長谷山　尚城		
川崎中原	井元　雄一		
横浜東	遠藤　一郎	立川　道彦	
神奈川東	馬場　佳子		
横浜中	中島　朋子		
横浜泉	安西　透		

●マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（62名）

川崎	堀内　愛元	野中　茂	簑口　昌明
川崎南	村田　眞一		
川崎幸	佐藤　隆		
川崎北	石坂　想		
川崎中	伊藤　稔	小島　徹	内藤　幸彦
川崎中原	江口　進	都倉　八重子	小林　正樹
川崎とどろき	石塚　陽子	井上　雅博	市川　郁雄
	内田　治彦	柳下　節子	
川崎麻生	大野　勉		
横浜東	井上　康久	齋藤　実	田口　泰朗
	岡本　誠一郎		
神奈川	佐藤　恵子	佐野　仁	
横浜港北	二瓶　則子	原　毅	
横浜鶴見北	今井　新一郎		
神奈川東	角田　伯雄	金森　欣一	小山　市康
横浜日吉	本間　康太郎	伊藤　正富	矢島　満
横浜南	水谷　透	宮田　彰久	
横浜港南	青柳　民朗		
横浜	後藤　元信	平山　浩義	鈴木　秀行
	高見澤　尚弘	田辺　哲郎	藤木　久三
	西川　盛朗	奥野　覚	齋田　順一
	吉田　嘉一郎	土屋　了介	早川　正雄
	大西　晴之	鬼嶋　一司	
横浜磯子	峯岸　博之		
横浜中	清水　正喜	中島　朋子	松井　隆史
	佐藤　宜永	武藤　健一	
横浜金沢東	棚橋　俊記	佐野　主水	
横浜西	石渡　裕	三田　佳美	鈴木　彰
	大野　睦子		

●ポール・ハリス・フェロー（25名）

川崎南	俵谷　かおり		
川崎幸	小杉　二三夫	植田　宏幸	
横浜東	藤本　三代治	橋本　陽子	池田　俊一
	立川　道彦		
神奈川	内田　洋子		
横浜日吉	野原　由美	瓜生　佳久	米山　由幸
横浜南	井原　裕一	宍戸　留美	
横浜港南	國光　一平	宮島　史裕	
横浜	足立　淳	水品　洋一	佐竹　博
横浜中	成田　信生	柴田　健	
横浜西	二宮　英彰	嵜本　清隆	山本　竹範
横浜戸塚	曲尾　ルミ	奥村　祐二	

ロータリー米山記念奨学会

●米山功労法人（1社）

横浜港北	株式会社ログリゾート

●米山功労者メジャードナー（22名）

川崎	布野　雅一		
川崎大師	牛山　裕子		
川崎マリーン	増田　敏雄		
川崎中	内藤　幸彦	小泉　繁勝	野口　新二
横浜鶴見北	高橋　敏昭	今井　新一郎	藤林　直美
横浜南	川﨑　智晴	蒲　隆夫	鳥山　直樹
	平野　忠弘		
横浜	小倉　正	奥津　勉	李　富鉄
	大須賀　洋	清水　良夫	
横浜中	服部　範二		
横浜金沢東	遠藤　尚男		
横浜MM 21	杉浦　武胤	山田　晃久	

●米山功労者マルチプル（60名）

川崎	武井　雅子	沼　りえ	岡本　雅行
	岩澤　克政	戸村　正房	酒井　一宏
	大沼　洋征	村田　光良	木村　美根雄
川崎南	細川　正義		
川崎幸	岸　政幸	加藤　亨	
川崎大師	沼田　直輝	小林　勇次	
川崎マリーン	中條　藝立	佐藤　明彦	増田　洋一
川崎中	渡邉　新治		
川崎中原	宮崎　玲児		
川崎とどろき	井上　佳則	市川　郁雄	柳下　節子
	内田　治彦		
横浜鶴見北	生方　常明	牧井　秀賢	加藤　進
神奈川東	馬場　佳子	天野　公史	加野　亮一
横浜日吉	本田　明	小泉　十三雄	
横浜南	宮田　彰久	青木　理	萩生田　義久
	岸　厚子	福本　学	角井　幸一
横浜港南	高柳　良作	宮下　賢	
横浜瀬谷	小澤　操	相澤　正見	髙橋　更一
	川口　恭正		
横浜田園	高橋　忠夫	澤田　俊一	
横浜	上野　元	池田　直樹	伊藤　宏
	北瀬　達也	渡邊　正典	渡邊　一郎
	坂田　宏		
横浜中	佐藤　宜永	千田　晴久	
横浜西	山本　邦近	髙野　伊久男	小勝　太郎
横浜戸塚	金子　孝春		
横浜保土ケ谷	工藤　樹		
横浜MM 21	岩堀　將		

●米山功労者（14名）

川崎	藤井　俊郎		
川崎マリーン	石田　生		
川崎中	栗原　茂昭	小島　正徳	
神奈川	三橋　伸一		
横浜港南	上杉　順一	淺井　英明	
横浜	佐竹　博	後藤　元信	小峰　直
	高橋　俊文	榎本　進一郎	木下　大助
	堀内　資公		

国際ロータリー第2590地区 2025年10月会員数報告（RC・RAC）

グループ	クラブ名	例会数	会員数( )内女性 10月末日	年初 7/1	本年度入会者	本年度退会者	本年度増減
1	川崎	4	60(4)	58(4)	2(0)	0(0)	2(0)
	川崎南	3	30(5)	29(4)	2(1)	1(0)	1(1)
	川崎幸	3	41(8)	40(8)	1(0)	0(0)	1(0)
	川崎大師	3	40(4)	42(4)	1(0)	3(0)	-2(0)
	川崎中央	3	45(12)	45(12)	0(0)	0(0)	0(0)
	川崎マリーン	3	35(4)	33(4)	2(0)	0(0)	2(0)
	新川崎	3	18(3)	14(3)	4(0)	0(0)	4(0)
	小計		**269(40)**	**261(39)**	**12(1)**	**4(0)**	**8(1)**
2	川崎北＊	4	46(9)	36(4)	11(5)	1(0)	10(5)
	川崎中	3	40(4)	39(4)	1(0)	0(0)	1(0)
	川崎鷺沼	3	26(2)	25(2)	1(0)	0(0)	1(0)
	川崎中原	2	21(3)	21(3)	0(0)	0(0)	0(0)
	川崎とどろき	3	14(3)	12(3)	2(0)	0(0)	2(0)
	小計		**147(21)**	**133(16)**	**15(5)**	**1(0)**	**14(5)**
3	川崎西	4	63(3)	62(3)	1(0)	0(0)	1(0)
	川崎西北	4	23(2)	23(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	川崎百合丘	4	51(8)	49(7)	2(1)	0(0)	2(1)
	川崎高津	4	36(1)	34(0)	2(1)	0(0)	2(1)
	川崎麻生	4	25(1)	25(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	川崎高津南	3	18(1)	17(1)	1(0)	0(0)	1(0)
	小計		**216(16)**	**210(14)**	**6(2)**	**0(0)**	**6(2)**
4	横浜東	4	51(4)	51(4)	0(0)	0(0)	0(0)
	神奈川	3	32(3)	32(3)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜港北	4	38(7)	38(7)	1(0)	1(0)	0(0)
	横浜鶴見北	4	32(3)	32(2)	1(1)	1(0)	0(1)
	神奈川東	3	45(3)	46(3)	0(0)	1(0)	-1(0)
	横浜北	4	21(3)	19(2)	2(1)	0(0)	2(1)
	横浜都筑	4	31(1)	30(0)	1(1)	0(0)	1(1)
	横浜日吉	4	40(8)	38(7)	2(1)	0(0)	2(1)
	小計		**290(32)**	**286(28)**	**7(4)**	**3(0)**	**4(4)**

＊川崎北RC会員数の内訳

川崎北	37(4)	36(4)	2(0)	1(0)	1(0)
川崎北YOKOHAMAロータリー衛星クラブ	9(5)	0(0)	9(5)	0(0)	9(5)

グループ	クラブ名	例会数	会員数( )内女性 10月末日	年初 7/1	本年度入会者	本年度退会者	本年度増減
5	横浜南	3	43(4)	43(4)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜港南	3	30(4)	26(4)	5(1)	1(1)	4(0)
	横浜旭	3	20(2)	20(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜瀬谷	5	26(4)	25(2)	2(2)	1(0)	1(2)
	横浜緑	4	24(4)	23(4)	1(0)	0(0)	1(0)
	横浜田園	4	21(2)	20(0)	2(2)	1(0)	1(2)
	横浜南陵	4	30(1)	30(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	新横浜	3	30(4)	29(4)	1(0)	0(0)	1(0)
	横浜あざみ	5	9(7)	9(7)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜南央	4	36(4)	35(3)	1(1)	0(0)	1(1)
	小計		**269(36)**	**260(31)**	**12(6)**	**3(1)**	**9(5)**
6	横浜	4	191(4)	184(2)	10(2)	3(0)	7(2)
	横浜磯子	3	19(2)	16(2)	3(0)	0(0)	3(0)
	横浜金沢八景	3	32(10)	31(9)	1(1)	0(0)	1(1)
	横浜中	4	52(11)	52(10)	1(1)	1(0)	0(1)
	横浜金沢東	3	27(2)	27(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜山手	3	25(6)	25(6)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜ベイ	2	39(6)	38(6)	1(0)	0(0)	1(0)
	小計		**385(41)**	**373(37)**	**16(4)**	**4(0)**	**12(4)**
7	横浜西	4	92(13)	85(13)	7(0)	0(0)	7(0)
	横浜戸塚	3	42(5)	42(5)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜保土ヶ谷	3	22(2)	22(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜戸塚西	4	16(1)	16(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜泉	2	21(2)	21(2)	1(0)	1(0)	0(0)
	横浜MM21	3	31(1)	30(1)	1(0)	0(0)	1(0)
	横浜戸塚中央	5	15(0)	16(0)	0(0)	1(0)	-1(0)
	小計		**239(24)**	**232(24)**	**9(0)**	**2(0)**	**7(0)**
合計			**1815(210)**	**1755(189)**	**77(22)**	**17(1)**	**60(21)**

RAC	横浜南	1	23(11)	18(10)	6(2)	1(1)	5(1)
	横浜	1	13(6)	9(5)	4(1)	0(0)	4(1)
	ベイフロント横浜	1	5(0)	5(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	横浜市立大学	0	17(12)	0(0)	17(12)	0(0)	17(12)
合計			**58(29)**	**32(15)**	**27(15)**	**1(1)**	**26(14)**

クラブ数	会員総数 (7月1日現在 1,755名)	本年度入会者	本年度退会者	本年度会員増減数
50RC	1,815名 (内女性会員 210名)	77名	17名	+60名

クラブ数	会員総数 (7月1日現在 1,787名)	本年度入会者	本年度退会者	本年度会員増減数
50RC・4RAC	1,873名 (内女性会員 239名)	104名	18名	+86名

Rotary District 2590

国際ロータリー第 2590 地区

〒 231-0016　横浜市中区真砂町 4-43　木下商事ビル 5F

TEL：045-650-2590　FAX：045-650-2591　E-mail：g-office@rid2590.jp　ホームページ：https://rid2590.jp